

<<最終更新日：2026年02月26日>>

基本情報

時間割コード	135333
開講区分(開講学期)	春～夏学期
曜日・時間	他
開講科目名	【総合】ダイバーシティ&インクルージョンの世界
開講科目名(英)	The world of diversity&inclusion
ナンバリング	13LASC1D501
授業形態	講義科目
単位数	2.0
年次	1,2,3,4,5,6年
担当教員	西岡 英子,林 美加子,木本 麻希子
メディア授業科目	該当(学部学生がメディア授業科目を卒業要件に算入できるのは60単位が上限です。)

※メディア授業科目について
 授業回数の半数以上を、多様なメディアを高度に利用して教室等以外の場所で行う授業を「メディア授業科目」としていません。
 学部学生が「メディア授業科目」を卒業要件に算入できるのは60単位が上限です。
 なお、非該当の場合であっても、メディアを利用した授業を実施する場合があります。

基本項目

履修対象	全学部
備考	

詳細情報

授業サブタイトル							
開講言語	日本語						
学習方法	聴講・視聴：講義・教材・実演を視聴して学ぶ（例：講義の対面受講、オンデマンド教材視聴）						
授業の目的と概要	本授業は、学内外の講師によるオムニバス講義です。「ダイバーシティ」という言葉が、日常的によく出てくるようになった現在、その本質を理解するために、今後の研究活動、社会活動について、自分自身のあり方を考えるきっかけを学びます。ダイバーシティに関わる課題と関連付けられた各分野の専門家による講義、それを受けての実務家からの話を通して、より理解を深めます。今までとは違う視点で社会を見るために、「equality」だけではなく、「equity」という概念を学び、ダイバーシティに関わる新たな考え方を習得します。						
学習目標	<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>ダイバーシティとはなにか？どんな意味があるのか？を論理的に説明することができる。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ダイバーシティ&インクルージョンをめぐる様々な課題を通じて、自分らしく生きることや他者に対してどう向き合うのかを批判的に論述することができる。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>アンコンシャス・バイアスに気づき対応することの重要性を受容することができる。</td> </tr> </table>	1	ダイバーシティとはなにか？どんな意味があるのか？を論理的に説明することができる。	2	ダイバーシティ&インクルージョンをめぐる様々な課題を通じて、自分らしく生きることや他者に対してどう向き合うのかを批判的に論述することができる。	3	アンコンシャス・バイアスに気づき対応することの重要性を受容することができる。
1	ダイバーシティとはなにか？どんな意味があるのか？を論理的に説明することができる。						
2	ダイバーシティ&インクルージョンをめぐる様々な課題を通じて、自分らしく生きることや他者に対してどう向き合うのかを批判的に論述することができる。						
3	アンコンシャス・バイアスに気づき対応することの重要性を受容することができる。						
履修条件・受講条件							
出欠席及び受講に関するルール	授業回ごとのレポート、カテゴリーごとのレポート提出と期末レポート提出を必須としています。レポート提出をもって出席としています。						
授業計画	<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">第1回</td> <td>題目:オリエンテーション、レポートにおける参考文献の書き方 林 美加子 (大阪大学 ダイバーシティ&インクルージョンセンター・センター長) 木本 麻希子 (大阪大学 ダイバーシティ&インクルージョンセンター・特任助教) 授業時間外学習：授業時間外学習：ダイバーシティ&インクルージョンセンターのウェブページを確認する。 https://www.di.osaka-u.ac.jp/diversity-and-inclusion/</td> </tr> <tr> <td>第2回 題目:<生物学的/社会学的側面> 生物学における性差研究の重要性とその問題点～生物学パラメーターとしての性～ 立花 誠 (大阪大学 生命機能研究科・教授)</td> </tr> </table>	第1回	題目:オリエンテーション、レポートにおける参考文献の書き方 林 美加子 (大阪大学 ダイバーシティ&インクルージョンセンター・センター長) 木本 麻希子 (大阪大学 ダイバーシティ&インクルージョンセンター・特任助教) 授業時間外学習：授業時間外学習：ダイバーシティ&インクルージョンセンターのウェブページを確認する。 https://www.di.osaka-u.ac.jp/diversity-and-inclusion/	第2回 題目:<生物学的/社会学的側面> 生物学における性差研究の重要性とその問題点～生物学パラメーターとしての性～ 立花 誠 (大阪大学 生命機能研究科・教授)			
第1回	題目:オリエンテーション、レポートにおける参考文献の書き方 林 美加子 (大阪大学 ダイバーシティ&インクルージョンセンター・センター長) 木本 麻希子 (大阪大学 ダイバーシティ&インクルージョンセンター・特任助教) 授業時間外学習：授業時間外学習：ダイバーシティ&インクルージョンセンターのウェブページを確認する。 https://www.di.osaka-u.ac.jp/diversity-and-inclusion/						
	第2回 題目:<生物学的/社会学的側面> 生物学における性差研究の重要性とその問題点～生物学パラメーターとしての性～ 立花 誠 (大阪大学 生命機能研究科・教授)						

	授業時間外学習：同上					
第3回	題目:<生物学的／社会学的側面> 教育とジェンダー					
	木村 涼子 (大阪大学 人間科学研究科・教授)					
	授業時間外学習：同上					
第4回	題目:<生物学的／社会学的側面> ジェンダー平等について—日本のこれから					
	村木 厚子 (大阪大学 ダイバーシティ&インクルージョンセンター・招へい教授)					
	授業時間外学習：同上					
第5回	題目:<生物学的／社会学的側面> リプロダクティブ・ヘルス&ライツ, 幅広い性と健康についての権利					
	松崎 政代 (東京科学大学 リプロダクティブヘルス看護学・教授)					
	授業時間外学習：同上					
第6回	題目:<アンコンシャス・バイアス> バイアス習慣を断つためには?—インクルーシブな組織文化の実現に向けて					
	西岡 英子 (大阪大学 ダイバーシティ&インクルージョンセンター・副センター長/教授)					
	授業時間外学習：同上					
第7回	題目:<アンコンシャス・バイアス> アンコンシャス・バイアス					
	大竹 文雄 (大阪大学 経済学研究科・特任教授)					
	授業時間外学習：同上					
第8回	題目:<法的側面／SOGI／人権> 家族の多様性を包摂する仕組み—スウェーデンの実践から (仮)					
	高橋 美恵子 (大阪大学 人文学研究科・教授)					
	授業時間外学習：同上					
第9回	題目:<法的側面／SOGI／人権> 性暴力とジェンダー					
	島岡 まな (大阪大学 法学研究科・教授)					
	授業時間外学習：同上					
第10回	題目:<法的側面／SOGI／人権> ジェンダーとセクシャリティの多様性—SOGIをめぐる歴史と国際的枠組みについて					
	ほんま なほ (大阪大学 COデザインセンター・教授)					
	授業時間外学習：同上					
第11回	題目:<法的側面／SOGI／人権> 企業のLGBTQ施策とLGBTアライ					
	東 由紀 (コカコーラ ボトラーズジャパン執行役員)					
	授業時間外学習：同上					
第12回	題目:<国際的側面／障がい／メディア> 持続可能な発展～女性・貧困・人口・労働～					
	上須 道徳 (大阪大学 経済学研究科・教授)					
	授業時間外学習：同上					
第13回	題目:<国際的側面／障がい／メディア> 障がいの社会モデルと合理的配慮					
	望月 直人 (大阪大学 キャンパスライフ・相談支援センター・准教授)					
	授業時間外学習：同上					
第14回	題目:<国際的側面／障がい／メディア> 月経をめぐるウェルビーイングとジェンダー平等					
	杉田 映理 (大阪大学 人間科学研究科・教授)					
	授業時間外学習：同上					
第15回	題目:<国際的側面／障がい／メディア> メディアとジェンダー —具体的事例と解決策					
	中塚 久美子 (ジャーナリスト・朝日新聞阪神支局)					
	授業時間外学習：同上					
教科書・指定教材	なし					
参考図書・参考教材	講義中に適宜指示します。講義前に予習が必要な場合もありますので随時、ご案内します。					
成績評価 ※学習目標の番号にカー	評価方法	小テスト	期末試験			
	学習目標1	○	○			

ソルをあてると、その学習目標の全文が表示されます。	評価方法	小テスト	期末試験		
	学習目標2	○	○		
	学習目標3	○	○		
	評価割合 (%)	45%	55%		
成績評価に関する補足情報	<p><評価方法> 以下の二種類のレポートで総合的に評価します。 ① カテゴリごとのレポート (合計3回) 45% ・各回の感想 150字程度 ・カテゴリ全体の感想 800字程度 ② 期末レポート 2,000字程度 (合計1回) 55%</p> <p><各回の提出期限> 1回目: 2026年5月29日 (金) 17時締切 2回目: 2026年6月26日 (金) 17時締切 3回目: 2026年7月24日 (金) 17時締切 期末レポート: 2026年8月6日 (木) 17時締切</p> <p><レポートの評価基準> 優: テーマ設定が明確で、講義内容を踏まえたうえで、参考文献を参照しながら、新たな視点で自らの意見や政策提言まで具体的に述べられている。 良: 講義内容を踏まえたうえで、自らの意見が述べられている。 可: 講義内容だけが述べられている。 不可: 講義内容も自らの意見も具体的に述べられていない。</p>				
成績評価基準	成績評価基準については大阪大学Webサイトを参照 https://www.osaka-u.ac.jp/ja/education/announcement/main/pdf/pjl2fk				
合理的配慮	<p>・本授業を受けるにあたり、障がい（難病・慢性疾患等を含む）に起因して合理的配慮を要する場合は、所属学部／研究科の障がい学生支援担当窓口（教務係／学務係／学生支援係等）や健康支援相談センターアクセシビリティ支援室に相談してください。</p> <p>・詳細はこちらを参照してください。 健康支援相談センターアクセシビリティ支援室 Website: https://acs.hacc.osaka-u.ac.jp 相談申込み: https://acs.hacc.osaka-u.ac.jp/soudan/</p>				
特記事項	<p>本授業は、完全オンデマンドのメディア授業でリアルタイムの要素はありません。</p> <p>※本科目は、OU-SDGsプログラム構成科目です。OU-SDGsプログラムへの登録は任意ですが、登録希望者はKOANの「副専攻・高度副プログラム」から登録を行ってください。 > (参考: プログラムホームページ) https://ou-sdgs.celas.osaka-u.ac.jp/</p>				
実務経験のある教員による授業科目	ジャーナリストや企業で執行役員として勤務し、実務経験を通して経験したと感じていることとお話しいたします。また、日本におけるダイバーシティ&インクルージョンを長年、牽引してきた講師も招へいし、実践的な内容としています。				

授業担当教員

教員氏名	所属・職名・講座名	e-mail
林 美加子	ダイバーシティ&インクルージョンセンター・センター長	
西岡 英子	ダイバーシティ&インクルージョンセンター・副センター長/教授	
木本 麻希子	ダイバーシティ&インクルージョンセンター・特任助教	

学生への注意書き

--